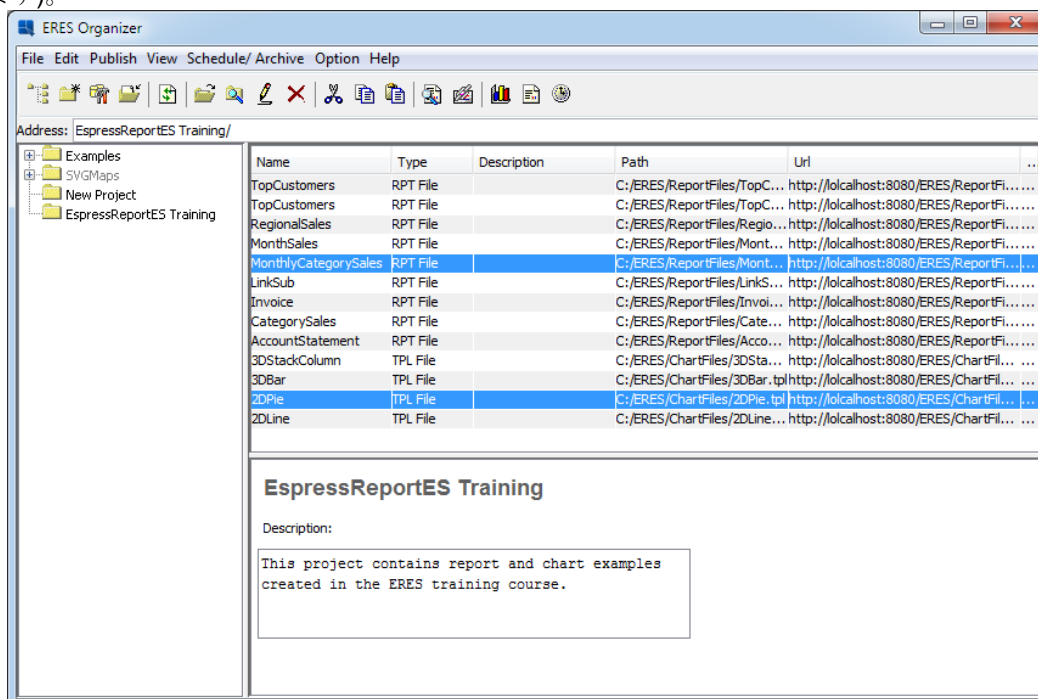


## 実習 4 3 : タスク・スケジュールの作成

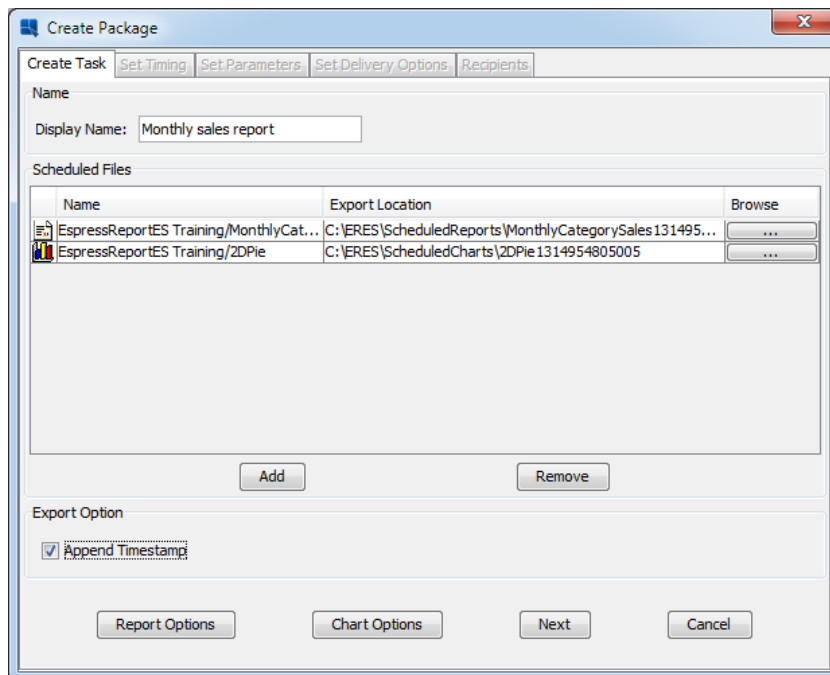
### ステップ 1 : テンプレートの選択

1. Organizer で“2DPie.tpl”チャートと'MonthlyCategorySales.rpt'レポートを選択します (project/directory からファイルの複数選択をするには、該当するファイルに **CTRL +**クリックをします)。

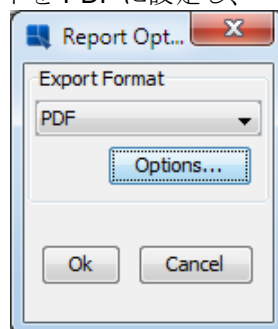


### ステップ 2 : タスク・スケジュールの新規作成

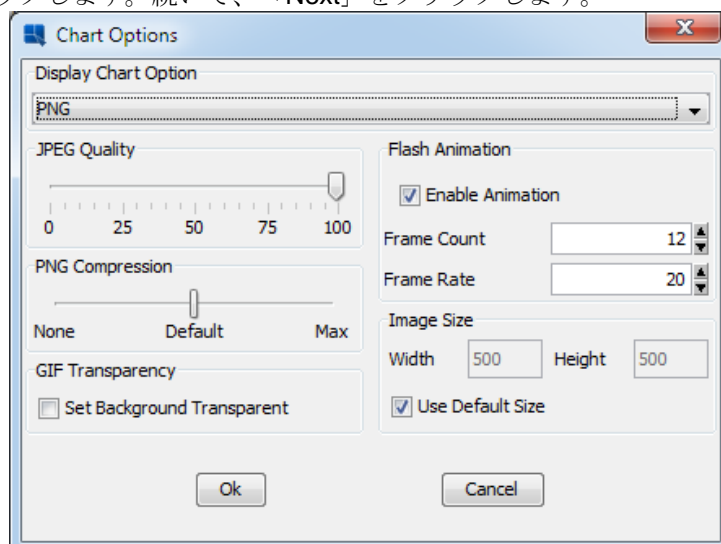
1. 「Set Schedule」アイコンをクリックします。「Create Package」ダイアログが開き、以前に選択したファイルが「Scheduled File」リストに表示されます。タスク・スケジュール名(「Display Name」)を“Monthly sales report”に設定し、「Append Timestamp」オプションを選択します。



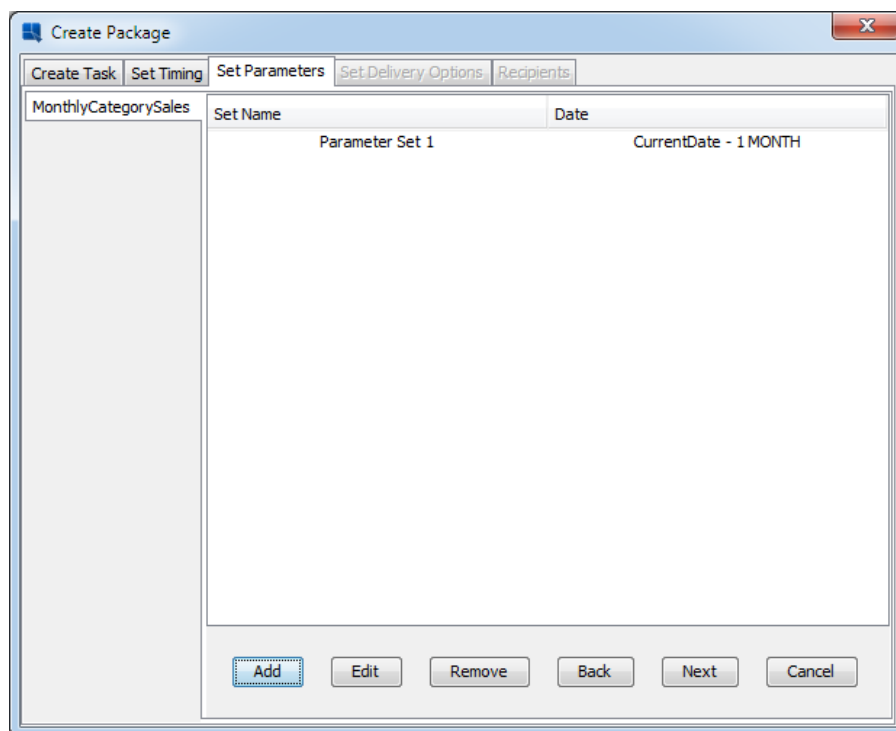
2. 「Report Options」 ボタンをクリックします。レポートの出力フォーマットを設定するダイアログが表示されます。出力フォーマットを PDF に設定し、「OK」をクリックします。



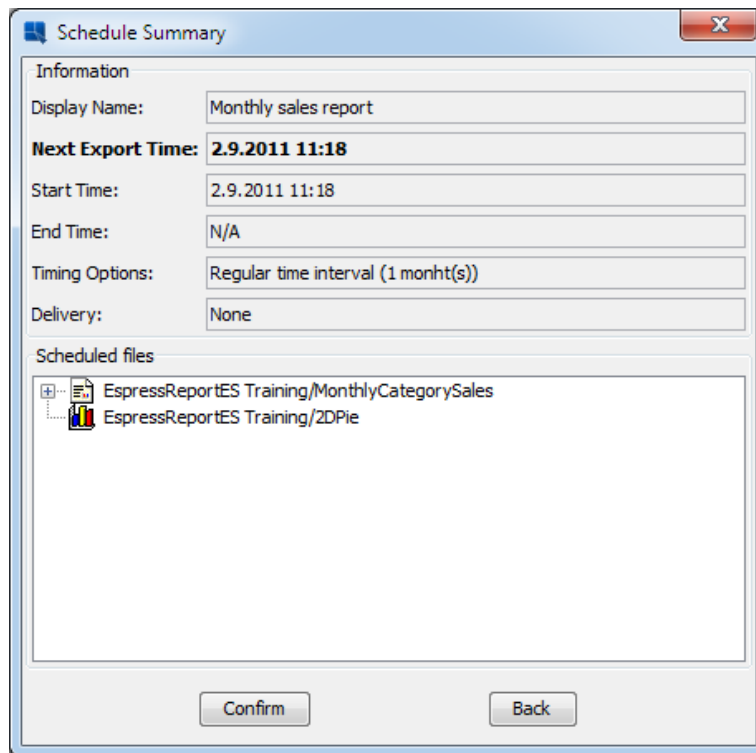
3. 「Chart Options」 ボタンをクリックします。チャートの出力フォーマットを PNG に設定し、「OK」をクリックします。続いて、「Next」をクリックします。



4. 「Set Timing」 オプションが表示されます。本実習ではタスクを一ヶ月一回に実行するように設定します。「At a regular time interval」を選択し、時間間隔を設定するダイアログを開きます。
5. 「Month」 オプションを選択し、間隔をデフォルト(1)のままで「OK」をクリックします。
6. 「Start Now」と「Run Indefinitely」のオプションを有効のままにします。この設定は、設定完了の数分後にタスクがすぐに実行され、タスクを削除しないと、一ヶ月毎に実行し続けます（つまり、無期限に実行します）。「Next」をクリックします。
7. “MonthlyCategorySales”のテンプレートにパラメータが設定したことで、一つ以上のパラメータ・セットを追加することが可能になります。追加したパラメータ・セット毎に、一つのレポートが生成し出力されます。パラメータ・セットを追加するには、「Add」をクリックします。デフォルトのパラメータをそのままにして、新規追加のパラメータ・セットとして「Ok」をクリックします。

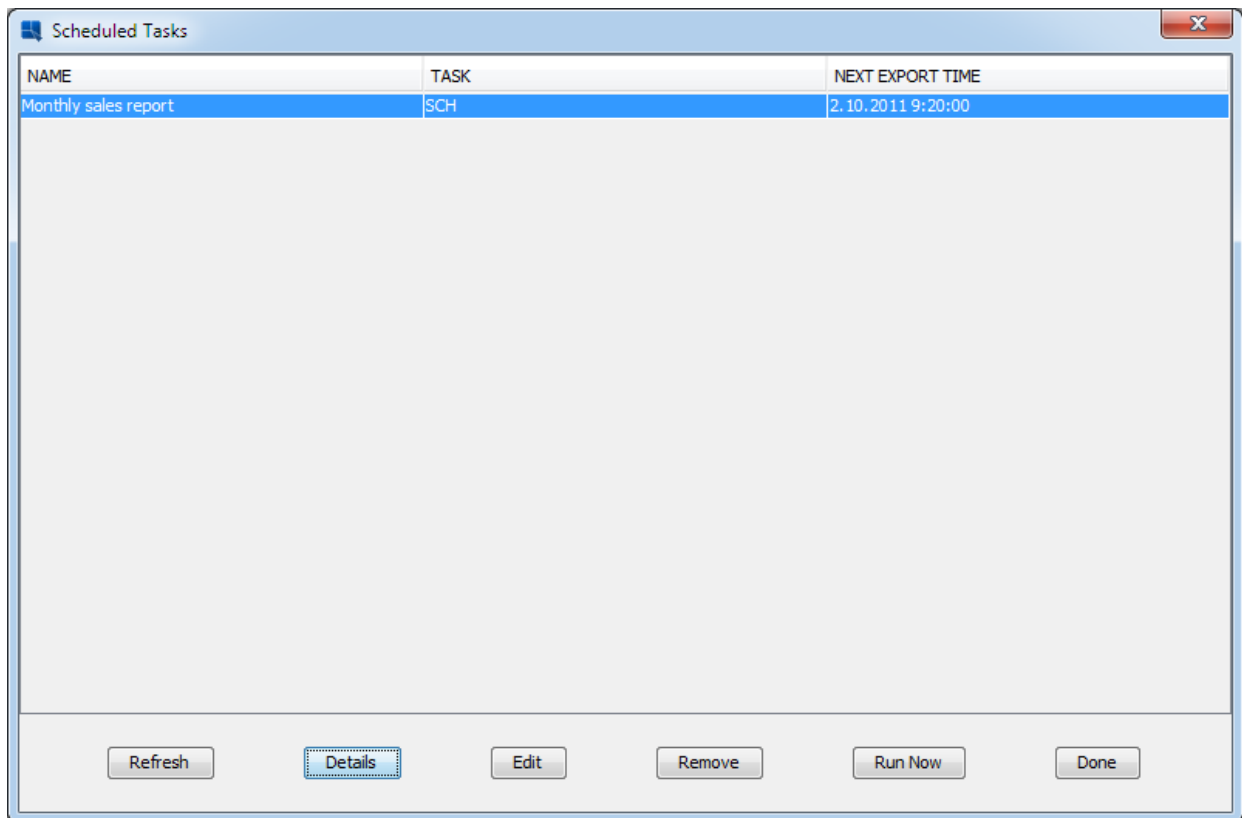


8. 「Next」をクリックします。次のダイアログでは、（デフォルトの“ScheduledReports”と“ScheduledCharts”のフォルダ以外に）追加のデリバリーオプションを設定することが可能になります。今回は、追加デリバリーオプションを追加しないで、デフォルトの設定のままで行き、「Next」をクリックします。
9. スケジュールの要約が表示されます。タスクのスケジュールを確認し、「Confirm」ボタンをクリックしたら、タスク・スケジュールが保存されます。



ステップ 3 : タスク・スケジュールのビュー

1. Organizer で「Schedule/Archive」メニューから「View Schedule Tasks」オプションを選択します。現在、実行中のタスク・リストが表示されます。出力終了まで待ちます（「Run now」のオプションが選択されたため、タスクはすぐに実行されます）。次の出力スケジュールを来月に設定した場合、最初のタスクはすでに完了しています。



2. 出力ファイルを確認します。“MonthlyCategorySales” レポートは  
<ERES\_InstallDirectory>/ScheduledReports ディレクトリに出力され、“2DPie”チャートは  
<ERES\_InstallDirectory>/ScheduledCharts ディレクトリに出力されます（このディレクトリはファイルマネージャーで参照し確認できます）。